

岸壁における船位保持方法

特許 第 1750949 号
 発明者 長崎造船所 西村好之
 下関造船所 佐藤喜久雄

近年、船舶における乗組員数の削減のニーズが高まっていることから、ウインチ等の甲板機器操作員の員数についても削減が予想されており、係船、船位保持作業も極めて少数の操作員にて操作することが望まれている。

本発明は、係船中に必要とされる船位保持のための作業員を大幅に削減できる装置で、船体を係船索を介して岸壁に係止するためのウインチをそなえ、船体を岸壁に対し所用の平面位置に保持すべく、岸壁に対する船体の相対位置を三角測量により求める為のテレビカメラと、同テレビカメラからの相対位置についての情報に基づき所用の平面位置へ船体を復帰させるのに必要な係船索の操作量を算出する演算装置と、同演算装置で算出された情報量に基づきウインチの制御を行うウインチ制御装置とが設けられたことを特徴とする、岸壁における船位保持装置である。

本装置により係船索の巻き込みまたは繰出しの制御が適切に行われ、より精度の高い船体の位置保持制御が行える。

お問い合わせ先

三菱重工業株式会社
 技術本部特許部特許企画グループ
 〒 220-8401 神奈川県横浜市西区みなとみらい三丁目 3 番 1 号
 ☎ 横浜 (045) 224-9068
 FAX 横浜 (045) 224-9908

図面の簡単な説明

図は本発明の一実施例としての岸壁における船位保持装置を示すもので、図 1 はその構成を説明するための模式的なブロック図、図 2 はその船位測定手段を説明するための岸壁における船体の平面図、図 3 は同船体の部分平面図、図 4 はその船位保持制御手段を説明するための岸壁における船体の平面図、図 5 は図 4 の V-V 矢視断面図である。

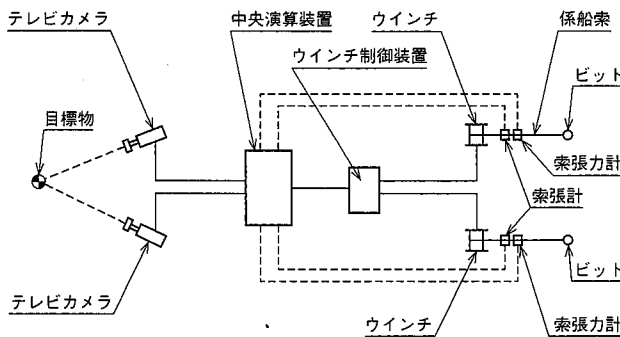


図 1

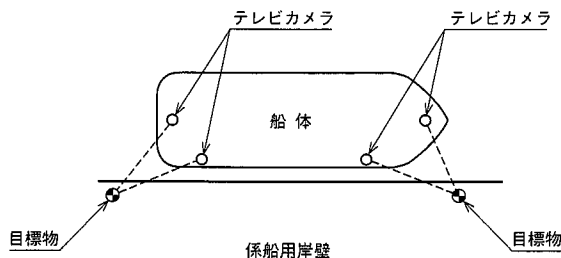


図 2

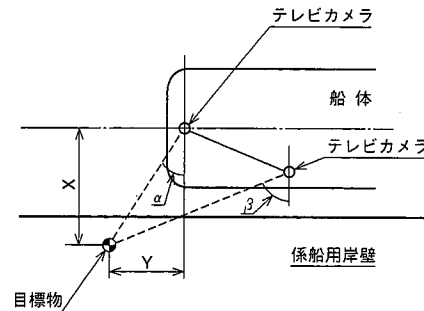


図 3

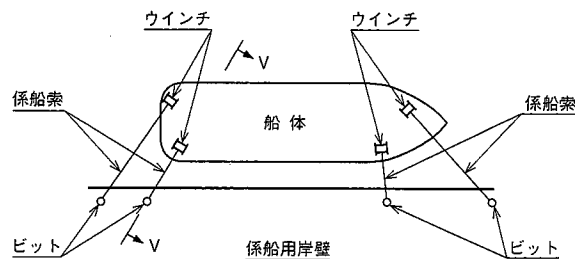


図 4

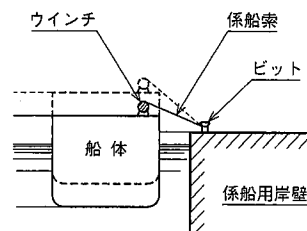


図 5